

説明文書 **造影CT・腎尿路系造影・胆嚢胆管造影・血管造影(ヨード系造影剤)、
造影MRI(ガドリニウム造影剤・鉄系造影剤)を受けられる患者様へ**

今回、あなたの病気の状態を詳しく調べるために、造影剤を用いた検査を行いますので、ご説明いたします。

1. 今回の検査における造影剤(注射)の必要性。

画像診断検査には以下のような目的があり、造影剤の使用することで、より正確な判断が出来る可能性が高いのです。

- 1) 病気の有無の評価。 2) 病気の種類の評価。 3) 病気の進行度の評価。

2. 造影剤の副作用の種類、頻度と治療方法。

造影剤は一般的に広く用いられている検査薬ですが、アレルギーによる副作用や腎機能障害(造影剤が腎臓から排泄されるため)が起きることが報告されています。アレルギーによる副作用には注射直後から1時間以内の早期に発生する即時型副作用と、1時間以降7日程度までに起こる遅発型副作用があります。つまり、検査が何事もなく終了しても数日間は症状が出る可能性があります。
*MRI 検査用のガドリニウム造影剤では遅発型副作用の報告はありません。

1) ヨード系造影剤の即時型副作用

皮膚のかゆみ、蕁麻疹、手足のむくみ、吐き気、めまい、気分不良などの軽度の副作用 : 20-30 人に1人の割合
血圧低下、呼吸困難、腎不全などの重大な副作用 : 1万人に4人の割合
死亡などの重篤な副作用 : 数十万人に1人の割合

2) ヨード系造影剤の遅発型副作用 ほとんどが発疹などの軽症のもの : 約30人に1人の割合

3) ガドリニウム造影剤や鉄剤系造影剤 ヨード系造影剤の十分の一くらいの割合

* 重大な副作用を起こす特異体質の患者様を前もって知る良い方法は、今のところありません。

* ただし、以前の薬の内服や注射(造影剤を含む)、食べ物(そば、そば、卵など)で蕁麻疹が出たり、気分が悪くなったことがある方や喘息や高度の心肝腎障害のある方では副作用が出やすいことが知られています。

- 即時型副作用が発生した場合には、担当医・主治医、放射線技師、看護師などが速やかに対応します。
- 遅発型副作用が発生した場合は主治医・当直医(連絡先 0940-37-1188)に連絡して下さい。
- 造影剤の副作用ではありませんが、注入時に造影剤が血管外へ漏れることがあります。CTでは造影剤を自動注入器で高速注入(1-5ml/秒)するため、比較的多量の造影剤が漏出する可能性があり、血行障害を来す恐れがある場合には、切開などの手術が必要になることがあります。

- 4) 糖尿病のお薬をお飲みの方は、お薬によっては副作用(乳酸アシドーシス)を起こす可能性がありますので、事前に医師にお申し出ください。

3. 造影剤の使用の有無に関する判断。

主治医、或いは放射線科医により造影剤の使用の有無に関する判断を行います。ただし、あなたの選択には自由があります。今回の造影検査に変わる検査の有無、造影検査を行わない場合に生じる不利益がどのようなものであるか、主治医とよくご相談の上、選択して下さい。なお、同意書署名の後でも、検査前であれば、撤回することも可能です。

4. 造影検査当日の飲水・摂食について

- 1) 特に指示のない限り、検査前5-6時間は、食事は摂らない様にして下さい。
2) 水やお茶などの水分は、1時間前までお飲み下さい。(普段より多めに飲んでおいて下さい。)
3) 服用中のお薬は、特に医師の指示がない限り、通常通りに服用して下さい。

同意文書 宗像医師会病院 院長殿

私は、造影検査を受けるにあたり、下記の医師から、説明文書(前項)に記載された全ての事項について説明を受け、その内容を十分に理解しました。また、私は、この医療を受けるかの検討にあたり、そのための時間も十分に与えられました。以上のもとで、自由な意思に基づき、この医療を受けることに同意します。

(説明) 説明年月日 : 平成 年 月 日 説明医師 : _____ 印*

(同意) 同意年月日 : 平成 年 月 日 同意者(本人) : _____ 印*

いずれかに○をつけて下さい。 造影検査に同意する ・ 非造影検査を希望する ・ 検査を希望しない

* 患者様に同意能力がない場合は、代理人の方が、説明文書(前項)に記載された事項について全て説明を受けた上で、自筆署名、もしくは記名押印して下さい。

代理人 : _____ 印* 患者様との関係 : _____

* 自筆署名、もしくは記名押印をお願いします。